

2025年度 修士論文最終発表会 @ 11号館204室 2026年1月22日 (木)

時間	発表者	研究室	題名
9:00-9:20	田中 達也	気候	東京における冬季降水と大規模循環場の年々変動
9:20-9:40	土屋 日菜	気候	機械学習を用いた九州における線状降水帯の発現予測
9:40-10:00	三芳 拓葵	気候	東シベリアにおける夏季の極端降水に関わる水循環過程の気候的特徴
10:00-10:20	横山 さくら	気候	東京西部における夏季強雨時の雨滴粒径分布と降水域の時空間構造との関係
10:20-10:40	田倉 遥生	気候	東アジアにおける温帯低気圧と大気の水の関係
10分休憩			
10:50-11:10	上谷 飛翔	地理情報	Sentinel-1時系列データを用いた森林伐採検出 - 日本における地形特徴量に着目して -
11:10-11:30	間宮 千皓	地理情報	洪水被害を軽減するための水害防備林の配置 - 茨城県久慈川中流域を対象とした洪水氾濫シミュレーションに基づいて -
11:30-11:50	大曾根 尚輝	地形・地質	福島県南西部, 阿賀川上流域における段丘発達の決定因子 - 支流域毎の地形・地質条件に着目して -
11:50-12:10	神馬 菜々美	地形・地質	歴史資料に基づく鳥海火山1800-1804年噴火の再検討
昼休憩			
13:00-13:20	川畑 美桜子	地形・地質	伊豆大島N期以降の噴出物層序—クリプトテフラを用いた再検討—
13:20-13:40	菅澤 大樹	地形・地質	中期更新世以降の河成段丘礫に発達する風化皮膜について - 宇都宮地域における事例 -
13:40-14:00	本間 海那	地形・地質	長石粒子の光ルミネッセンスを用いた海岸砂移動の定量的評価 - 新潟県寺泊海岸での検討
14:00-14:20	田中 宏沖	地形・地質	富士火山に由来する御殿場岩屑なだれ・泥流の分布と体積量に関する再検討
14:20-14:40	手塚 麻里	環境地理	太陽光パネルの設置が土壌の分布に与える影響 - 土壌分類に着目して -
10分休憩			
14:50-15:10	山崎 悠太	環境地理	八丈島における土壌環境との関係からみた樹木の機能形質に与える雲霧の影響
15:10-15:30	佐藤 シェーン	環境地理	日本の温帯性針広混交林における樹木の共存機構とその地理的差異
15:30-15:50	多田 智貴	都市・人文	COVID-19流行前後における日本人観光客の訪問地分析 - フォトリポートに投稿された東京都の旅行記を対象として -
15:50-16:10	山本 将大	都市・人文	GTFSデータを活用した精緻な近接性解析のためのツール選定 - 山形都市圏の医療機関を例に -

2025年度 博士論文中間発表会

16:20-17:00	YADAMSURE N, GANSUKH	環境地理	Evaluation of anthropogenic impacts on the vegetation-soil system in the isolated permafrost zone in Mongolia (モンゴルの孤立的永久凍土域における土壌-植生系に影響する人為圧の評価)
-------------	----------------------	------	---